

税務相談日のお知らせ

年が明ければ、まもなく確定申告の時期を迎えます。
本年度も商工会各支所では税理士さんを招聘して税務相談会(決算・所得税・消費税ほか
税務全般)を開催いたします。ご希望の方は商工会各支所までお申し込み下さい。
支所によって日程・時間帯が違いますのでご注意下さい。

相談時 ご持参いただくもの

- 前年度(20年)の申告書・決算書
- 税務署から送付された21年の決算書・申告書・消費税申告書(対象者のみ)
- 年金受給・給与所得がある方 それぞれの源泉徴収票
- 社会保険証明書 厚生保険・年金、国民年金、国民年金基金、国民健康保険料
- 減価償却資産 建物、建物付属設備、構築物、機械、車両運搬具、工具器具・備品
で21年1月1日～12月31日の間に取得し、その価格が10万
円以上のもの
取得価格・下取り価格が確認できる契約書
- 各種証明書 生命保険証明(一般・年金)、地震保険証明、小規模企業共済証明書



- 豊浦町支所：下記5回 いずれも午後2時～午後4時
◆平成22年2月16日(火)・2月18日(木)
・3月2日(火)・3月4日(木)・3月9日(火)
- 豊北町支所：下記2回 いずれも午前10時～午前12時
◆平成22年2月5日(金)・3月4日(木)
- 豊田町支所：下記2回 いずれも午後2時～午後4時
◆平成22年2月24日(水)・3月5日(金)
- 菊川町支所：下記2回 いずれも午後2時～午後4時
◆平成22年3月3日(水)・3月9日(火)

■詳細は各支所にお問い合わせ下さい

下関市商工会は

あらゆるニーズに対応します

豊浦町支所 083-772-0625
豊北町支所 083-782-0147
豊田町支所 083-766-1119
菊川町支所 083-287-0204

会報

下関市商工会 083-772-0625

第9号

発行日
平成21年12月21日



目次

■年末のご挨拶 会長 福田 清	1
■金融制度 ・マル経融資 ・商工貯蓄共済融資 ・利子補給補助金	2
■労働情報 ・船員保険制度の 見直し ■青年部ニュース	3
■税務相談日の お知らせ	4

お知らせ

- 今後も会報で実施事業の周知および各種改正等のお知らせをします。
- 年間に4回の会報発行を予定しています。

年末のご挨拶

会長 福田 清

100年に1度の大不況に襲われる中で、波乱万丈のスタートを切った2009年も、あと残すところ僅かとなりました。アメリカ初の黒人系大統領誕生。マイケル・ジャクソンさんの急死。「2009年問題」などを背景にする失業不安。商工会職員にも発生した新型インフルエンザの世界的大流行。北朝鮮のミサイル発射と核実験。最近では、韓国の射撃場火災で日本人客10人死亡・・・等々がありました。

こうした中、麻生政権は昨年の秋以降、相次いで経済対策を実施しました。定額給付金の給付。高速道路料金の大幅値下げ。エコカーを対象にした自動車減税。省エネ家電に適用されるエコポイント制度。

そして自民党の歴史的な惨敗により戦後初の本格的な政権交代が起こり鳩山由紀夫氏率いる民主党政権が生まれ、11月には国民の目の前で「事業仕分け」が行われました。

一方、私たちの身近な状況を見回しましても、景気が回復していくような材料に乏しく、来年が一体どのような年になるのか想像が付きません。私たちの仕事においても事業仕分け同様に無駄をなくしていき新しい形を模索するなど何らかの対策をほどこさなければならないのかもしれない。

同封しております親睦交流会のご案内ですが、持ち回り開催となっており、今回の開催を以て4町の引受を終わります。従いまして会員が一堂に会する最後の機会です。会員の皆様の積極的なご参加をお願いいたします。

最後になりましたが、会員の皆様、ご家族の皆様のご健康、ご多幸を祈念し年末のご挨拶とさせていただきます。

商工会推奨

ネットde記帳

インターネットで楽々経理!

●ソフトのインストール不要

●バージョンアップ不要

●バックアップ不要

●税制改革に素早く対応

●電子申告に対応(予定)

インターネットで楽々経理 しません

ネットde記帳は、インターネットを利用して帳簿入力や集計ができる経理システムです。商工会連合会が提供するASPサービスとして、経理ソフト及びデータ等を商工会連合会が一元管理していますので、データの保護やセキュリティも安心してお使いいただけます。

■金融情報

小規模事業者経営改善資金融資制度 (マル経融資制度)

運転資金:仕入資金、買掛金・手形決済、諸経費支払
設備資金:店舗・工場改装、営業車両購入、機械・設備・備品購入

経営改善を図ろうとする小規模事業者の方々をバックアップするため、
下関市商工会の推薦により無担保・無保証人・低金利で融資を受けられ
る国(日本政策金融公庫)の公的融資制度です。

資金使 途	運 転 資 金	設 備 資 金
融資限度額	1, 500万円以内	
返済期間 (うち据置期間)	7年以内 (1年以内)	10年以内 (2年以内)
融 資 利 率	1.85% (平成21年12月21日現在)	
担保・保証人	不 要 (信用保証協会の保証も不要)	

融 資 対 象

以下の条件をすべて満たす方

①常時使用する従業員が20人以下 (商業・サービス業は5人以下) の法人・個人事業主の方

②商工会の経営・金融指導を受けて事業改善に取り組んでいること

③最近1年以上、下関市で事業を行っている方

④商工業者であり、日本政策金融公庫の融資対象業種を営んでいること

⑤所得税、法人税、事業税等義務納税額を全て完納している方

融資機関 日本政策金融公庫

商工貯蓄共済融資制度

事業資金：本制度(商工貯蓄共済)に加入後6ヶ月以上経過し、所定の掛金を遅延なく払い込んでいる個人・法人

資金使 途	運 転 資 金	設 備 資 金
融資限度額	●共済加入後6ヶ月以上1口に対し10万円 ●1年以上1口に対し20万円 ●2年以上積立金の5倍 但し、融資残高が1,000万円を超える場合は積立金の3倍、最高額は1,500万円	
返 済 期 間	5年以内	7年以内 (500万円以上は10年以内)
融 資 利 率	2.3% (平成21年12月21日現在)	
担保・保証人	第三者保証は不要・法人代表者は必要 (信用保証協会の保証は必要)	

融 資 対 象

商工貯蓄共済への加入者であれば特に制限はありません。
(但し、信用保証業種であること)

融資機関 山口銀行



■下関市商工業近代化資金利子補給補助金

新規申請は今年が最終です！

今年一年間に設備資金を借入した会員さんへ

融資機関 (中小企業基盤整備機構、中小企業金融公庫、商工組合中央金庫、日本政策金融公庫、山口県信用保証協会の保証により、融資を行う金融機関) より平成21年1月1日より12月31日の間に長期(1年以上)の設備資金・設備改良資金の融資を受けられた方に下関市より利子補給補助金(借入利息の一部補助)が交付されます。

この制度は旧豊浦郡地域の商工業者を対象として合併後も継続されていましたが今年をもって新規申請は終了となります。昨年度までの申請者については残存期間、今年度申請者は最長3年間の補助が受けられます。

詳細については別紙の通りです。申請については各支所の担当者にお問い合わせください。

【補助金計算例】設備資金500万円借入 利息3% 今年の支払利息の合計 70,000円

$$70,000円 \times 1.5\% (補助率) \div 3\% (借入利率) = 35,000円 \longrightarrow \text{補助金額}$$

■労働情報

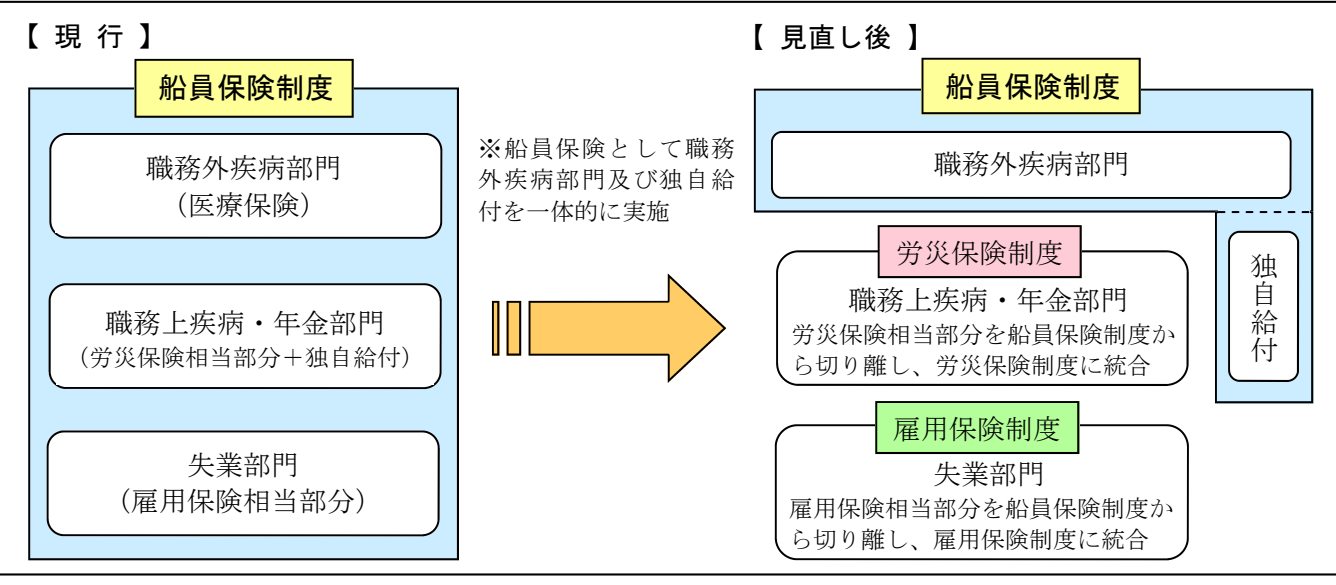
船員保険制度の適用を受けておられる事業所の皆様へ

平成22年1月1日より、現在船員保険制度で実施されている職務上疾病・年金部門は労災保険制度に、失業部門は雇用保険制度に、それぞれ統合されることとなります。【下記図】
(職務外疾病部門は、新たな船員保険制度として実施されます。)

今回の船員保険制度の見直しで、労災保険・雇用保険制度へ統合されるにあたり、各事業所において届出等の必要な手続きをして頂く必要があります。また、現在船員保険の被保険者である法人の代表者(役員を含む)で、船員を雇用されている船舶所有者は、平成21年12月28日までに労災保険の特別加入制度への加入手続きを行わなければ補償が受けられなくなります。

会員事業所内に、該当する事業所がございましたら、商工会各支所へお問い合わせの上、早めの手続きをお願い致します。

【お問い合わせ先】	下関市商工会	豊浦町支所 772-0625	豊田町支所 776-1119
		豊北町支所 782-0147	菊川町支所 287-0204



■青年部ニュース

第12回商工会青年部全国大会に於いて 【まちづくり部門表彰】を受賞

『ホテル舟』は昭和43年に始まった「蛸まつり」の延長線上にあり、マンネリを打破するために平成2年より運航を開始した屋形船3艘でのホテル鑑賞のイベントです。運航に関しては青年部が一から取組み、安全面の確保・ボート免許の取得・ガイド養成等諸問題をクリアし部員は熟練の域に達している。期間中(15日間)利用者は全国から3000人でリピーターも多く、幻想的な眺めは観光客を魅了している。57%が県外客であり、宿泊施設は満室状態である。また、飲食業や道の駅など地元商工業に少なからず貢献している。(道の駅ホテルミュージアムができ、新たな賑わい創設・情報発信に繋がっている。)

人が集まれば賑わいが出、商売も儲かるだろうという単純な発想で、たまたま源氏ホテルが群生していたので「蛸まつり」と名付けたイベントが時を経て「ホテル舟」へと継続し、蛸といえば豊田だと全国的にも認知されるに至った。その間、蛸の住みよい環境づくりに対する住民の理解も深まり、特に小学生は蛸の飼育・観察委員をとおして情操面の向上に役立っている。青年部活動の中では最もエネルギーを費やすイベントであるが、部員の結束力・運営の円滑化に寄与している。

